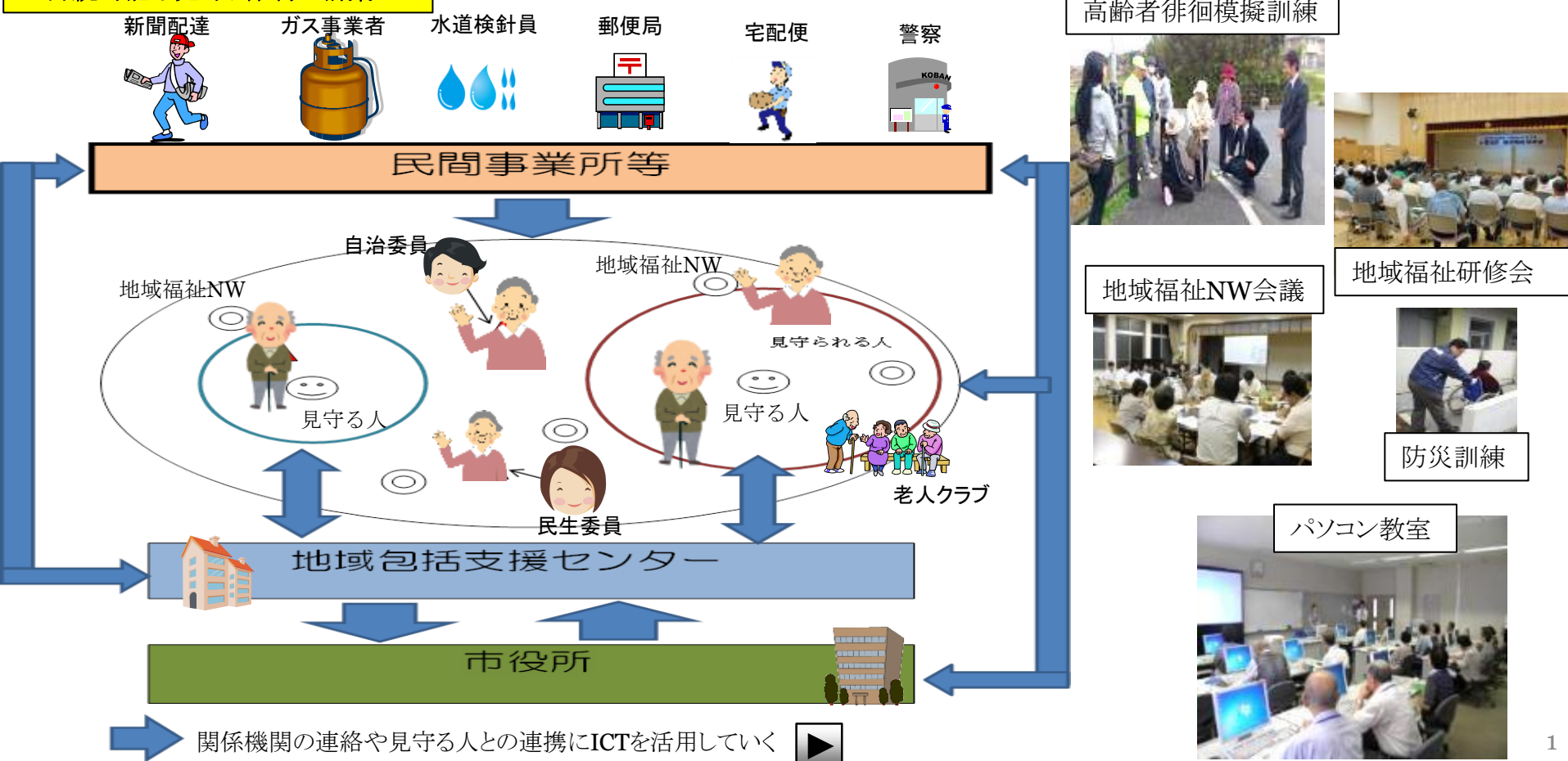


地域の力とICTを活用した見守り体制の構築を目指して

- 校区ごとの地域福祉ネットワーク協議会：見守りや防災等の地域の各種の課題を住民が主体で解決していく組織で、協働して実施する。
- 民間事業所との連携：市役所と民間事業者が見守りに関する協定を結び、対象者を見守る（間接的見守り）。
- ICTを活用した見守り体制構築に向けて：パソコン教室を開催して、IT利用者を増やし、地域包括支援センターや市役所とEメール等を活用した双方向の連絡体制を構築していく。

<持続可能な見守り体制の構築>





地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	中津市
②人口（※1）	85,639人 (42,203人)
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	(満65歳以上) 26.4% (23.8%) (満75歳以上) 14.2% (11.9%)
④取組の概要	一人暮らしの高齢者または高齢者夫婦のみの世帯を対象に、本人の希望に基づいて地域の社会資源等を活用した見守りを行う。
⑤取組の特徴	パソコン教室を開催し、元気な高齢者が参加することにより、地域で見守りを行う側の人材として育成するとともに、ICTを活用した情報発信を行えるようになることで、将来的に見守られる側になったときにも自らが情報の送り手・受け取り手になれるようにする。 また、地域での見守りや防災等の課題を住民が主体で解決していく組織である校区ごとの地域福祉ネットワーク協議会に地域包括支援センターが参画し、その活動を支援していく。 また、地域で活動する民間事業者（水道・ガス・電気・新聞等）をネットワーク化して、一人暮らしまたは高齢者夫婦のみの世帯（希望者のみ）の見守りを行う。
⑥開始年度	平成23年度
⑦取組のこれまでの経緯	平成23年8月から24年3月まで事業対象者へのアンケートを実施。第2次中津市地域福祉計画策定の校区作業部会に地域包括支援センターが参加し、地域福祉ネットワーク協議会に関与する。ICT等を活用した情報提供事業として、郵便による情報提供（いずみの園のみ）、パソコン教室を実施する。「なかつ見守りネットワーク」のウェブサイトを立ち上げ、住民のボランティアによる「見守り隊」を募集する。同サイトで各地域包括が立ち上げたブログをリンクし、情報提供を行う。
⑧主な利用者と人数	一人暮らしの高齢者及び高齢者夫婦のみの世帯に属する高齢者 259名[いずみの園担当地区92名、三光園担当地区167名]
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	中津市、(包括支援センター)中津市地域包括支援センターいずみの園、中津市地域包括支援センター三光園(地域福祉組織)大幡福祉の会「輪」、如水
⑩市区町村の関与(支援等)(※2)	情報提供の実施。平成25年度は市の財政支援はない。
⑪国・都道府県の関与(支援等)(※3)	県補助事業(平成23年度・平成24年度) (ひとり暮らし高齢者安心ネットワーク構築事業費補助金、H23年度14,378千円、H24年度13,571千円)
⑫取組の課題	民間事業者による見守りで、個人情報の取り扱い許可が雇用契約のある社員にしか適用されないため、企業団体との協定締結が難しい。
⑬今後の取組予定	モデル事業期間に培ったノウハウを実施していない地域包括支援センターに拡大したい。見守りに協力してくれる企業等を拡大したい。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	中津市 福祉部 介護・高齢者福祉課 高齢者福祉係 0979-22-1111 内線736・737

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。





中津市における、今後の展望(参考1)

持続可能なひとり暮らし等高齢者見守り体制の構築

⇒ モデル以外の地域包括支援センターへの普及

1. 調査

定期的な対象者の更新

住民福祉台帳の活用（民生委員からの情報：市 社会福祉課）

二次予防の基本チェックリストと同時に見守り希望調査

2. 地域連携強化

地域福祉計画及び活動計画に基づく、活動団体との協働

多分野の関係者による集まり

民間事業者等による見守り

見守り実態把握調査に基づく、見守りの依頼

（中津市と民間事業者の協定書の締結）





3. ICT等活用（参考②）

パソコンや携帯のメール機能を使える元気な高齢者を継続して増やす

出張パソコン教室

中津情報プラザの講座紹介

見守り実態把握調査に基づく、メールを活用した見守りと情報提供

Sメールは安否確認のみに活用

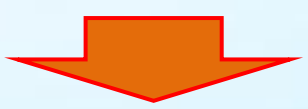
パソコン教室の受講者を増やす

地域の“ちから”を活用し、ネットを張り巡らせて見守る

- ・地域福祉計画及び活動計画の目標に沿いつつ、地域住民中心の見守り活動
- ・見守り隊(ITを活用した情報伝達)による見守り活動
- ・民間事業者による日常の見守り



「マンパワーによる見守りでその情報伝達にIT
(Eメール等)を活用する。」



社会的関係性の継続のある地域づくり

見守り自体にITを導入すると膨大な
予算が必要で、限られた予算の中
では、人による見守りの道具として
活用する。



ICT等を活用した情報提供(中津市)

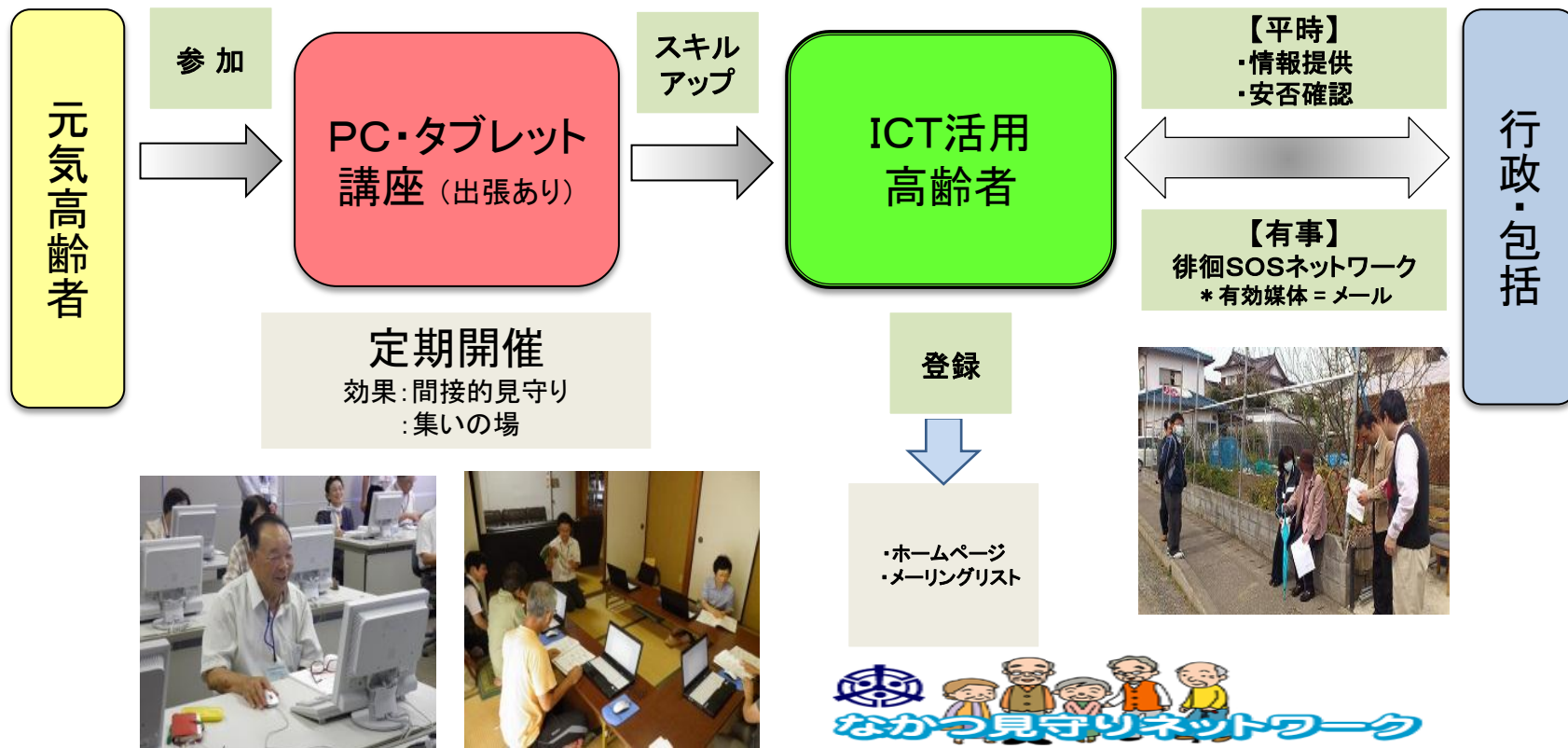
○ 元気高齢者を対象にパソコンやタブレット端末の講座を開催

* ICTが活用できる高齢者を増やす

(裾野を広げ、小さな芽を10年、15年後の為に育てる)

* 付加価値⇒『生活の質の向上』

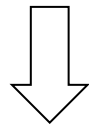
例) 買い物・認知症予防・楽しみ・情報検索 等々



地域での見守り活動(中津市)

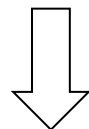
- 地域連携を強化していくために、行政・社会福祉協議会と連携し、地域福祉活動計画策定のためのワークショップから参加。
 - ⇒ 地域福祉ネットワーク協議会(地域住民組織)発足
 - ⇒ 地域サロン発足
 - ⇒ 住民組織による見守り活動開始
- 民間協力事業者(電気・ガス・水道・新聞等)との連携

地域福祉活動計画



計画に見守り等の実践目標を位置付け

地域住民組織・地域サロン(モデル地区)発足



サロン活動に定期的に参加(講師)

要支援高齢者への見守り活動





東永添地区(結の会等)の見守り活動の例

日	月	火	水	木	金	土
	1 市報配布 (班長)	2 民間協力事 業者	3 民間協力事 業者	4 民間協力事 業者	5 結の会 訪問	6
7	8 民間協力事 業者	9 民間協力事 業者	10 老人会訪 問活動	11 民間協力事 業者	12 民間協力事 業者	13
14	15 市報配布 (班長)	16 民間協力事 業者	17 民間協力事 業者	18 民間協力事 業者	19 結の会 訪問	20
21	22 地域サロン 開所	23 民間協力事 業者	24 老人会訪 問活動	25 民間協力事 業者	26 民間協力事 業者	27
28	29 民生委員 訪問	30 民間協力事 業者				

